

新商品のご紹介

今回は、日本製紙クレシアの新商品『クレシア やわらかクロス』をご紹介します。

これは不織布でできたクロスで、やわらかい素材でできているので、お年寄りの方や患者様の身体清拭の際に使っていただけます。また、超音波（エコー）検査後のゼリーの拭き取りにも、お肌にやさしい素材なので安心です。

やわらかい素材であるのと同時に、丈夫な素材でもありますので、ドアノブやベッドまわり、ストレッチャー器具器具の清拭や、内視鏡洗浄後のスコープの水分拭き取りにも使っていただけます。

こちらの商品はドライタイプのもので、濡らして使用しても乾いたまま使用してもどちらにも対応することができます。縦強度にも横強度にも優れた製法でつくられており、衛生現場で使用される消毒用エタノールや次亜塩素酸に浸したウェット状態でも、滅菌処理した後のドライ状態でも、強度はほぼ変わりません。



頭の体操・解答

前号の解答です。

- 11時に来てください。
→11時におこしいただけますか。
- すいません、わかりません。
→申し訳ありませんが、わかりかねます。
- 僕でもいいですか。
→わたくしでもよろしいでしょうか。

(お)



また、食品衛生試験実施済みなので、飲食店や食品売場、食品工場でも安心してお使いいただける商品になっています。

これから、インフルエンザやノロウイルスの流行が心配になる季節になってきますので、予防の際に使用してみたいかがでしょうか。

ちなみに、予防に役立つ商品として、『クレシア ジャンボ消毒ウェットタオル』もあります。こちらは、消毒用エタノールをしみこませたウェットタイプの商品です。細菌やカビ、インフルエンザに有効です。150×300mmのシート、250カットが大きなバケツに入っている状態です。こちらは詰め替え用もあります。

商品についての詳細は、弊社担当営業までお気軽にお問い合わせください。
(Y)

スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業 1 部
027-361-5734
営業 2 部
027-361-5780

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-kabasawa
@kamisugiura.co.jp

ニュースレターQ

天保8年（1837年）創業

スギウラ株式会社 027-361-5808

2014年11月1日 発行 第88号

特 集

・エコシステムアカデミー

・FSC森林認証紙

・国際福祉機器展 2014

・2014 東京国際包装展

・新商品のご紹介

企画：頭の体操・解答

エコシステムアカデミー



11月になり、朝晩はかなり冷え込むようになってきました。しかし日中は、まだまだ暖かい日もあり天気がよければいろいろな所に出かけるにはいい時期ですね。山々では、紅葉も見ごろをむかえました。

山といえば先日、私も山に行ってきました。まだ、紅葉の時期ではなかったのですが、ガイドさんに説明してもらいながら森林散策してきました。しかしながら、遊びではなく勉強のために行ってきたのです。行ってきたのは福島県西白河郡西郷村にある三菱製紙の社有林であるFSC森林認証の森です。そこで三菱製紙で行なっている『エコシステムアカデミー』というものを勉強してきました。

三菱製紙株式会社では、森林保全の観点から、地球温暖化防止や生物多様性についての理解を目的として、『エコシステムアカデミー』という環境教育活動を行っています。具体的には、「体験型学習」「環境セミナー」「森の調査・研究」を柱に活動しています。

「体験型学習」は、紙漉き体験やFSC森林認証の森に実際に案内してもらいます。

紙漉き体験では、水に溶かしたパルプをハガキサイズの網に木枠をつけた道具に流し込みます。水分を網の部分から落とし、木枠と網をはずします。その後、乾いたパルプで挟み水分をある程度とっていきます。次に板に挟んで足で踏み

しぼります。最後にアイロンをかけて乾燥させたら出来上がりです。製紙会社で紙を抄造するのと原理はまったく同じなので、紙が出来る工程がとても簡単に理解できます。

また、パルプは針葉樹と広葉樹の2種類を漉きました。針葉樹のパルプは繊維が長く繊維の絡み合いがしっかりするため丈夫な紙が出来ます。そのためクラフト紙などに使われ、主に包装紙や紙袋など強度が必要な用途に用いられます。広葉樹は繊維が短く細いためしなやかな紙が出来ます。そのため、上質紙などの印刷用紙の主な原料になっています。

FSC森林認証の森では、実際に散策して間伐林や未間伐の森などを、木々の説明や間伐の必要性などを聞きながら森の中を歩き回りました。普段、山林の中を歩く機会がないのでとても気持ちのいい体験でした。

「環境セミナー」では三菱製紙の環境への取り組み、森林の役割、日本の森林の状況、FSC森林認証の仕組み、紙の出来る工程の説明などを、チップやパルプなど実物サンプルやパネルなどを使って説明しています。

「森の調査・研究」は、定点カメラを使つての森林の観察や、野鳥観察、植生調査などを行っています。野鳥調査では、日本野鳥の会に協力をしてもらいながら野鳥の観察を行っています。植生調査では、1平米の範囲での間伐、未間伐などのさまざまな条件でのアカマツの実生の生育調査をしています。

『エコシステムアカデミー』では、小学生や一般の方などさまざまな方が参加されています。ご興味のある方がいらっしゃいましたら弊社営業まで相談していただければと思います。(T)

FSC森林認証紙



エコシステムアカデミーの記事の中にでてきましたF S C森林認証制度について、少し説明させて頂きたいと思います。

F S Cとは、N G O団体である森林管理協議会（Forest Stewardship Council）の頭文字をとったものです。

F S C森林認証制度は、F M認証（Forest Management）とC o C認証（Chain of Custody）の二つに分かれています。F M認証は森林の管理や経営を対象としたもので、一方C o C認証は森林認証の林産物の加工や流通の管理を対象としたものです。

また、F S C森林認証は紙だけではなく、家具やおもちゃ、鉛筆などさまざまな製品に利用されています。意外なところでは、シイタケにもF S C認証されているものがあります。F M認証を受けた山林から出材された、クヌギやナラの原木を使ってシイタケを生産しているそうです。

印刷物にF S C森林認証マークを印刷する場合は、F S C森林認証紙を使用することと、流通する会社すべてがC o C認証を取っていること、そして実際に印刷する印刷会社もC o C認証を取得している必要があります。

また、F S C森林認証紙を使っていれば、C o C認証を取得していなくても「適切に管理された森林で育った木材を原料とした紙を使用しています。」などの表現ならば可能です。

現在、三菱製紙では、全木材チップ使用量のおよそ30%がF S C森林認証材の木材チップになっています。国内製紙メーカーではトップレベルです。

そして、三菱製紙の2013年度に購入した木材チップおよび木材パルプのすべてが適正に管理された森林からの木材に由来することが確認できているそうです。

また、三菱製紙では、クレジット方式と呼ばれる方法で森林認証紙を生産しています。クレジット方式とは、簡単に言えば入口（原材料の購入量）と出口（紙製品の販売量）の数量が同じになるように管理しているものです。例えば三菱製紙が100tのF S C森林認証パルプを購入したら、100t分F S C森林認証紙ができるわけです。入口と出口の管理なので、どの製品にどのタイミングで使われるかは関係ないので。つまり、F S C森林認証紙のラベルは貼ってある紙製品にF S C森林認証のパルプが一切入っていない可能性もあるのです。実際のF S C森林認証のパルプも認証されてないパルプも品質的には同じものです。なので、購入量と出荷量が適正ならばどの製品にどのタイミング使われるかは関係ないので。

それなので、三菱製紙の八戸工場で生産しているほとんどの種類の紙製品にF S C森林認証紙のラベルを付けることができます。

金菱、パールコートN、ニューVマット、PPCはもちろんですが、NCRやアートポストなどの製品にもF S C森林認証紙として取り扱いが可能です。また、通常の紙製品とF S C森林認証紙とは、ラベルで区別していますが中身はまったく同じものです。弊社でも「ニューVマット」と「ニューVマットF S C-MX」などでラベルの違いを指摘されることはありますが、中身は同じなので混ぜてお使いになってもまったく問題ありません。

(T)

国際福祉機器展 2014

10月1日から10月3日にかけて、ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した福祉車両まで、世界の福祉機器を一堂に集めた国際展示会、第41回**国際福祉機器展 H.C.R.2014**が東京ビッグサイトで開催されました。

“化”ではない“超高齢社会”に入っている日本にとって、身体障害者や、とりわけ高齢者の自立生活や社会参加の促進、家庭や福祉施設での介護を支援する福祉機器の役割は大きくなっています。国際福祉機器展では、食品・衣類から福祉車輻・住宅改修用機材まで、様々な福祉機器とその周辺情報を展示していました。それ以外にも、国際シンポジウムや福祉の相談コーナー、高齢者の料理講座など、多彩なセミナーや企画が開催されていました。

各企業ブースでは、それぞれジャンルごとに展示ゾーンが分かれており、1日ですべてのブースを見ることはとてもできないほどの展示がありました。ビッグサイトに行ったことのある方ならお分かりいただけると思いますが、東館全館を使つての展示会でしたので、その広さたるやぐるっと回るだけで一苦労です。

2014 東京国際包装展

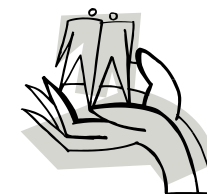
10月7日から10月10日にかけて、様々な業界で活躍している包装資材・容器、包装機械を中心に、調達から生産、物流、流通、販売、消費、廃棄・リサイクルに至るまでのあらゆる分野を網羅した世界有数の国際包装展、**2014 東京国際包装展—TOKYO PACK 2014—**が東京ビッグサイトで開催されました。**H.C.R.**に続き、2週連続で東京ビッグサイトに参りました。こうなればビッグサイトにも慣れたものです。ビッグサイトで不明点などがあればご相談ください(笑)

それはともかく。**TOKYO PACK**も**H.C.R.**と同様、東京ビッグサイトの東館全館を使用して開催されました。各ブースでは、包装資材・容器はもちろんのこと、計量機やラベル貼機を含む包装機械、印刷・加工機械、食品関連機材、物流システム機器まであり、狭義の“包装”にとらわれない、非常に幅広い展示がされていました。

弊社の仕入れ先のひとつであるカミ商事もブースを出しており、紙おむつ製品の展示をしていました。また、エボラ出血熱対策としての防護服や防護マスクを展示しているブースも複数あり、交通網の発達などによって高度にグローバル化が進んでいる現在では、決して他人事ではないのだなと実感させられました。

今回の展示でよく目にしたフレーズがあります。「笑顔で」です。介護する側もされる側もいかに楽しく「笑顔で」いられるか、福祉機器はそのためのサポート機器であるという点に、より注目が集まっていると感じました。最近の研究では、認知症で相手の表情をなかなか読み取れない人でも、笑顔を読み取る能力は最後まで衰えにくいことがわかってきたとききます。当社でも、介護する側もされる側も「笑顔で」いられるよう、全力でサポートさせていただきたいと思います。

(M)



仕事を抜きにして、個人的に大変興味深かったのが「包餡機」です。これはその名の通り、自動で餡を餅で包んで大福などを作ってくれる機械です。なんと1時間に3,600個も作れるそうです。実際に稼働しているところを見ることはできませんでしたが、甘いもの好きの私にとっては天国のような展示ブースでした。

最後に、王子製紙の展示ブースから、興味深かったものを紹介させていただきます。**OK クリーンRN**製のノートです。**OK クリーンRN**は、クリーンルームなどで使用する超低発塵性の事務・プリンタ用紙です。これをノートにしたものなので、クリーンルームなどの厳しい清浄度を要求される場所でも使用できます。種類は**B5**サイズの**7mm** 罫線、**A4**サイズの**7mm** 罫線、**A4**サイズの**5mm** 方眼、手帳サイズの**7mm** 罫線の4種類です。興味がおありのお客様は、弊社営業までお問い合わせください。

(M)